

地域会メンバー全体会について

10月28日(月)に、地域会メンバー全体会を開催しました。
内容は以下の通りです。今回は、全体会について報告します。



●久光先生のご講演

全体会参加者の方を対象に、高松少年鑑別所/法務少年支援センター高松 地域非行防止調整官の久光達也先生より、『少年鑑別所の役割と少年司法の流れについて—関係機関との連携—』をテーマとしてご講演をいただきました。

以下が感想の抜粋です。

- 少年鑑別所の役割がわかり、地域との関わりがイメージできてよかったです。また、対人援助の大事な視点について、再認識することができ、大変学びになりました。
- 少年鑑別所と少年院の違いも知らなかったので「少年審判と処遇の流れ」を説明して頂き一連の流れが分かりました。少年鑑別所での様々な支援、他機関との連携など少年たちに円滑な社会復帰ができる様手厚い支援があることを学びとても勉強になりました。
- 今自分がかかっている子どもたちが、少年になり、非行に及んでしまった時又はそうなりそうな時に、法務少年支援センターに相談できると知ることができました。
- 触法者の支援について相談を受けることがあり、支援経験が殆どなく支援へのハードルの高さを感じていましたが、連携できる機関がある事を知り受け入れへのハードルが少し下がりました。
- 司法の知識が深まり、先を見通した支援の手がかりになりました。
- 実際、少年に対する支援は少ないですが、少年鑑別所の業務内容として、カウンセリング、地域援助ネットワーク等、大人も相談可能な内容を教えて頂けたので、今後の支援に活用させていただきたいと思います。
- 鑑別所の扱う対象に発達遅延や発達障害を背景とする者が増えていることは知っておくべきことだと思いました。



●情報交換会

久光先生のご講演の後には、1つのグループ[メンバー5名~6名+サポート委員1名もしくは地マネ1名]の構成で情報交換会を行いました。メンバーさんとサポ委さんの交流に加えて、メンバーさん同士の交流も活発に行われ、とても盛り上がった会となりました。

以下が感想の抜粋です。

- 他職種の方のお話には、対象者の年齢の違いはあるけれど対応の仕方に共通点がある事に驚いたり、自分の感じたことのない苦勞を聞いたりして、新たな発見がありました。
- いつも接している職種とは違う立場の方のお話を聞くことができたので、よかったです。
- 違った職場の方々とお話が出来、共通した困りごともあったので普段思っている事を気軽に話す機会が出来て良かったです。又、他の施設での困りごとに対しての対応を聞いて参考になる意見もあったので参加して良かったです。
- グループワークを通じて対象者の年齢問わず、基本的な関わり方に相違がないことが分かりました。
- 職種や、支援をする対象者の方の年齢が違う方とのお話から学ぶことが、こんなにたくさんあるのだと驚き、また、このような会に参加できたことを有り難いと思いました。
- 今後も積極的に地域会や研修に参加して、自分の引き出しを増やして行きたいと思いました。
- 発達障害の方の就労や特性によった難しさなど同じ意見を持たれている方がいて、共感できました。
- 多くの方が参加されており、改めて地域の結びつきの大切さが分かりました。
- 同じグループに触法ケースを対応された方がおり、参考になりました。

情報交換会は、今後も改良を重ねながら行っていく予定です。今回参加されなかったメンバーの方も、またのご参加をお待ちしております。

